



田村市立都路中学校

学校だより 第13号

令和6年7月5日（金）
発行責任者：校長 佐藤 仁
TEL：0247-75-2009

めざす生徒像：自らの志を語り、目標に向かって主体的に努力できる生徒

めざす学校像：志を育む学校 学び合い、高め合う学校 信頼され、愛される学校

見える学力と見えない学力

木村泰子さん（初代大阪市立大空小学校長 2015年に公開された文部科学省特別選定作品ドキュメンタリー映画「みんなの学校」の舞台となった学校。教員を退職した後は、講演や執筆活動に取り組んでいる）が執筆した「10年後の子どもに必要な見えない学力の育て方」を読みました。普段、私たち教員をはじめ、保護者の方々も、定期テストの結果など、「見える学力」に目が行きがちです。木村泰子さんは、その豊富な指導経験から、「見える学力」を支えているのは「見えない学力」とおっしゃっています。「見えない学力」とは何か、その内容を要約して紹介します。

【人を大切にする力】

- 自分の周囲の人との違いを認め、「自分がされて嫌なことは相手にしない、言わない力」
他人事を自分の事としてとらえ、自分ならどう感じるかを想像し、人を大切にする力が社会生活を円滑に送るためには必須です。

【自分の考えを持ち、表現する力】

- 文句を意見に変え、自分から自分らしく、「私は〇〇〇だと思う」と自分の考えを自分の言葉で発信する力
この力の育成には、家庭や学校など、子ども達の生活環境（居場所）が、安心できる環境であることが大前提です。

【チャレンジする力】

- 失敗をおそれず挑戦する力
失敗が挫折につながり、二度と立ち直れなくなるのではなく、失敗から学び、失敗を次のチャレンジ、ステップアップにつなげていくたくましさ。

小学校の校長だった木村泰子さんは幼児や児童の教育に視点を置いています。中学生の成長にも大きく関わるものだと思います。見える学力向上の前に、いかに見えない学力を高めていくか。木で例えると見えない学力は根の部分にあたると思います。学校生活や家庭生活、地域での生活の中で、まずは、根に十分な栄養を与えることで、丈夫で元気な幹や枝、葉が育ち、大きくてきれいな花（学力の向上など）を咲かせる。学校においては、今後も「見える学力」と「見えない学力」両方の育成を図っていきたいと思います。ご家庭においても、二つのバランスを考えながら、声かけや励ましをお願いいたします。

蛇足になりますが、「見えない学力」を構成する三つの力の中で、【人を大切にする力】が一つ目にあげられていることに注目したいと思います。情報化社会の進展は、私たちの社会に大きな変化をもたらしています。今後もさらに進展し、5年後、10年後の社会がどうなっているのか、想像するのがこわい面もあります。とりわけ、SNSの普及など、人と人をつなぐ手段の多様化が進んでいます。情報化のスピードに私たちが追いついていけない、あるいは振り回されているように思えてなりません。情報化社会だからこそ、「人を大切にする力」が求められていると思います。社会がどう変化しようとも、人を思いやる心が基盤になって、人と良好な関係を築き、社会生活を送っていく。学校生活の様々な場面を通して、子ども達の「人を大切にする力」を育んでいきたいと思っています。